

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------------|--|----------------|------------|
| 事業所番号 | 1495200170 | 事業の開始年月日 | 平成24年3月1日 |
| | | 指定年月日 | 平成24年3月1日 |
| 法人名 | 株式会社日本アメニティライフ協会 | | |
| 事業所名 | 花物語なかはら新館 | | |
| 所在地 | (〒211-0051) | | |
| | 川崎市宮前区宮内2-17-35 | | |
| サービス種別 定員等 | <input checked="" type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 | 登録定員 | 25名 |
| | | 通い定員 | 15名 |
| | | 宿泊定員 | 9名 |
| | | 定員計 | 名 |
| | | ユニット数 | ユニット |
| 自己評価作成日 | 平成26年11月13日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成27年4月22日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|--|
| <p>花物語なかはら新館は溝の口駅、高津駅、小杉駅からバスで西下橋でおり、徒歩2分程度です。また、武蔵中原駅、武蔵新城駅からも徒歩20分程度の徒歩圏内で利便性に優れた立地にあります。また、駐車場も広く取っていることから利用者様のご家族や知り合いなど幅広く面会に見られます。小規模では利用者様、ご家族様に合わせた送迎を行い、介護がご家族の負担にならないよう在宅支援を行っています。また、畑作りを行い収穫の喜びを共有し、日々の食事に取り入れることで楽しみの支援を行っています。</p> |
|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | | | |
|-------|------------------------|---------------|------------|
| 評価機関名 | 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 | | |
| 所在地 | 横浜市中区本町2丁目10番 横浜大栄ビル8階 | | |
| 訪問調査日 | 平成26年12月25日 | 評価機関 評価決定日 | 平成27年4月16日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|---|
| <p>【事業所の概要】 花物語なかはら新館は、JR南武線武蔵新城駅又は武蔵中原駅より、徒歩16、7分ほどの、戸建てと集合住宅が混在する閑静な住宅街にある。武蔵小杉駅、溝の口駅、高津駅からバスを利用すれば、最寄バス停より、徒歩4分ほどである。 鉄骨造3階建の1階が、当小規模多機能型居宅介護事業所で、2階、3階は併設のグループホームである。隣接して同一法人が運営する小規模多機能型居宅介護とグループホームの併設事業所があり、協力関係が出来ている。駐車場のスペースを地域の秋祭りの休憩所として提供し、獅子舞、子供神輿などが立ち寄り、利用者を楽しませてくれる。また敷地内に畑を有しており、収穫された野菜などが、食卓にあがることもある。</p> <p>【個別ケアの推進と職員のチームワーク】 事業所理念の一つに「利用者の思いを受け止め、一人一人が主人公であること」を掲げ、利用者の思いに寄り添う姿勢を、職員が共有している。「ジョギングが日課の利用者には、距離をおいて後ろから職員が見守り追走する」「地元での女子会を楽しみにしている利用者に対しては、健康状況に合わせ家族と連絡を取りながらスケジュールを調整する」「寝る前の入浴を望む泊まりの利用者には、そのための職員シフトを組む」「湯ぶねに浸かりたいがリフトは怖いと言う利用者には、シャワーキャリーとスライドボードを利用して2人介助で入浴してもらう」など、個別ケアを実践している。 これらのサービスは、介護計画書に位置づけられている。職員は計画書と関連付けて個人記録を記載し、モニタリング表などで実施状況を確認、評価し介護計画書の見直しに結び付けている。</p> |
|---|

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|------------------------------|---------|---------|
| I 理念に基づく運営 | 1 ~ 14 | 1 ~ 7 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15 ~ 22 | 8 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23 ~ 35 | 9 ~ 13 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36 ~ 55 | 14 ~ 20 |
| V アウトカム項目 | 56 ~ 68 | |

| | |
|-------|-----------|
| 事業所名 | 花物語なかはら新館 |
| ユニット名 | 小規模多機能 |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|--|
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 施設理念を念頭に置き、職員が一丸となり利用者様一人一人にあった支援を行うよう心掛け、自宅にいるようなくつろぎを感じていただけるよう日々の介護を行っています。 | 「心のふれあいのある生活の場」「利用者の思いを受け止め、一人一人が主人公であること」を理念とし、職員は利用者の地域生活の継続支援を図っている。管理者はスタッフ会議、ミニカンファレンスで理念に触れ、個別ケアに結び付けるよう指導している。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町内会に加入しています。健康まつりやお祭りなどの施設のイベントの際には地域の方にもお声掛けをし、ご利用者様との交流の機会を増やすよう心掛けています。 | 町内会に加入し盆踊り、文化祭、防災訓練などに参加している。地域の秋祭りに駐車場のスペースを休憩所として開放している。健康祭りを開催し地域住民を招いている。弦楽器のコンサート、中学校の吹奏楽、音楽療法、ボール体操指導などのボランティアが来訪している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 施設の見学会を開催し、近隣の方々を招いて認知症に対する取組の話や認知症サポーター研修などを企画しています。認知症・介護保険についても随時説明を行っています。また、認知症の方でも住み慣れた地域で暮らして頂くために民生委員定例会や地域包括ケア会議などで小規模の利便性をお伝えしています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 地域の民生委員や包括支援センターなどの方にもご参加頂き、運営推進会議で頂いた意見をもとに、ご要望に合わせ検討、実施をしています。 | 町内会長、オーナー、地域包括支援センター職員、民生委員、区職員、家族代表、利用者代表参加の下、2ヶ月に1度開催している。事業所の運営報告のほか、「防災問題」「認知症サポーター養成講座開催の検討」など、多岐にわたり活発な意見交換が行われている。外部評価の結果もこの場で報告、討議されている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 中原区近隣の地域包括センターや、中原区の高齢者支援課へ定期的に訪問し、運営推進会議やイベントの情報をお伝えしたり、相談に乗って頂いたりアドバイスを頂いています。 | 区の職員、地域包括支援センター職員とは困難事例の方の受け入れについて密に連携している。川崎市小規模多機能型居宅介護事業者連絡協議会に加入し市職員と交流している。市、区主催の研修に参加している。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 社内研修にて「身体拘束ゼロの手引き」をもとに、事例検討を含めて職員への指導を行っています。現在身体拘束を行っている利用者様はいらっしゃいませんが、必要に応じてご家族を含め話し合いを行っています。また、施設玄関については防犯上施錠されていますが、利用者様のご希望に応じて職員と共に買い物、散歩、受診等の外出をして頂いています。 | 身体拘束ゼロへの手引き、法人マニュアルを共有し、身体拘束をしないケアを実践している。事例検討を交えた研修を実施している。グループホームと共有の玄関は、安全性を優先し、家族の了解の下、施錠している。出たいそぶりの利用者に対しては、付き添って外に出るなどの対応をしている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 会議の中で、どういう場合が虐待になりうるケースなのかを話し合い、理解を深めています。職員も虐待を見過ごさないように意識を高く持つように心掛けています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 認知症ケアを行う上で必要な知識として、日常的に随時ミニカンファレンスを行い職員間で知識を共有し、必要とされる利用者様がいらっしゃった場合にはいつでも相談・支援できるよう心掛けています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約に関しては、話し合いを多く持ち、お互い納得の上でご利用頂いています。説明の時間を十分に取って一緒に契約内容を見ながら読み上げ、一つ一つ確認をして契約させていただいています。疑問や心配事については随時納得していただけるよう説明をしています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 送迎の際にご家族様の意見などを職員が承った時は施設長に報告するよう指導しています。ご家族の心配事やご意見に対していつでも相談出来る様に、電話やメールでも随時受け付けています。また必要にあわせて話し合いの場を持ち迅速な対応を心掛けています。 | 通いの送迎、訪問サービスやケアマネジャーの定期訪問時に、意見、要望を聴取している。メールを利用することもある。個々のケアへの要望などは必要があればミニカンファレンスを開催し対応している。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 会社全体の運営会議やスタッフ会等を通じて意見や提案を検討し、よりよいものにできるよう努めています。また要望や意見は随時受け付け職場環境の改善等早めに対処しています。 | スタッフ会議やミニカンファレンスなどで、要望、意見を職員から聞いている。契約更新時に管理者との面談が年1回実施されている。ウッドデッキの利用方法、環境整備などについて意見があり、改善を進めている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 契約更新時に個人面談を行い、就業時間の増減、契約社員や社会保険の加入について希望等、契約条件などを考慮し、雇入れを取り交わしています。意欲や力（知力・体力・精神力）のあるものには、リーダーやその上を目指してスキルアップしてもらうよう伝えています。無資格者には、資格取得支援制度などの奨学金制度も整備してあります。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 社内研修の的確な実施や外部研修への参加、資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけています。また、利用者様一人一人に適切なケアを提供出来るよう日々のミニカンファレンスで意識づけを行い、職員間でのケアの在り方を学べる会議や職員研修会などを設けています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 市町村等からの研修などや他施設見学等に参加することにより、同業者との情報交換やネットワークを構築するよう努めている。また他事業所との職員間の交流も行っており、サービスの向上を心掛けています。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用前にご家族や本人に要望や不安毎を聴き、利用開始時にはアセスメントをしっかり取り、会話の機会を多く持つことで、信頼関係を築けるように努め、どんな事でも話して頂けるような関係性を持つようにしている。ご本人からの要望に対しては傾聴し、ケアに反映させるよう努めています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご本人やご家族が困っている事や不安な材料や要望を聞き取るよう常に連絡を取り合い、アセスメントや介護支援計画書に反映させ、安心して利用して頂けるように努めています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 利用者様、ご家族様にどのような生活スタイルを希望されるかを伺います。その上で小規模が適切どうかも考慮し、サービスに繋げています。場合によってはGHや他事業所などへの紹介も行っています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 小規模は、自宅の延長線上にあり、職員と利用者様が共に家族の一員と思ってもらえるように努めています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族と密に連絡を取り、常にご家族の意見も反映できるようにし、ご本人の情報をご家族とも共有し、一方通行にならないように心掛けています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 小規模を利用されていても常に利用者様の生活圏を考え、近隣や親戚、友人等の付き合い、なじみの店への買い物の付き添い支援をしています。 | 日常の散歩や買物の支援をしている。知人が事業所へ訪ねてくることもある。女子会を楽しみにしている利用者には出席できるように支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 誕生会や季節の行事等、利用者同士の親睦を深め、使用者同士会話がスムーズに行えるよう職員が間に入って配慮しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービスが終了した方など今後発生した場合は家族を通じて他事業者への情報提供、支援を行っていきます。入院の際のお見舞いや手紙の発信などにより良い関係性が継続できるよう努めたいと考えています。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日々のケアの中でアセスメントを行い、申し送りやカンファにて意向や希望の把握を随時行っています。お好きなレクリエーションを行えるようさまざまな道具を用意したり、春からは畑で野菜の育成に携わってもらいなどご本人が行いたいことをやって頂けるよう個別ケアを行っていません。 | 日々の利用者との係わりの中で、意向の把握に努め、買物などの身近な要望には、すぐに対応している。レクリエーションの参加などは無理強いせず、利用者のやりたいことを優先している。意向を表すことが困難な利用者については、表情から読み取るなど意向の把握に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 利用していた担当ケアマネージャー及び、家族や本人から情報を得て、今までやってきた家事や趣味等が継続できるよう利用に至る経緯や生活環境なども職員間で共有し、これまでの生活習慣が継続できるような支援に努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々のアセスメント以外に、ケアプランの更新時の際にもモニタリングや評価を行っており。職員一人一人が、利用者の現状をしっかりと把握し、必要な支援について個別ケアに努め、話し合い対応しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日々のケアの中において、モニタリングやアセスメントを行い、本人や家族の意向に近づいた介護計画にするため、ご本人との会話を大切にし、送迎時の際にご家族に日頃の様子を伺い、職員からの情報を多く得て介護計画書を作成、職員間で共有を行っています。 | 月1度モニタリングを実施し、6ヶ月ごとに介護計画書を見直している。職員の意見、家族の要望、医療情報を包括した介護計画としている。個別ケアを推進し、利用者個々の状況に合わせ服薬、食事、レクリエーション、外出などが介護計画書に位置づけられている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個人記録に時間毎の様子や利用者様の言葉や様子を記録し、どういう思いを抱いているのかをリサーチし、日々の細かな情報や気づきを記録に残し、申し送りやカンファにて情報の共有及び、介護計画書への反映、見直しを行っています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 常に現状必要なサービス、今後必要になるサービスは何であるかを考え、本人と家族の関係性（これまでの生活歴等）を考慮しながら必要なサービスにつなげるよう取り組んでいます。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 町内会の会員になっており、回覧板や町内会からの情報を得て、夏祭り等に出掛け、利用者様、職員共に楽しみを持っています。また地域のお祭りの際に施設を神輿の休憩場として提供し、近くで神輿を見て頂く等の楽しみを持って頂いています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 家族と連絡を取り、受診後の心身状態を常に伺い、日常のケアに繋がっています。また、独居の利用者様には職員が受診に付き添い、かかりつけ医との連携を図っています。 | かかりつけ医への通院は家族が行うことを原則としているが、急を要する場合や独居の利用者には、職員が同行する。いずれの場合も、受診情報は、受診報告書に記載し、職員間で共有している。 | |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 日々の申し送りやケアの中で、相談を行ったり、個人記録に記入など、情報の共有を行い、適切な看護につなげています。また、看護師による介護職員への指導も行い、適切な情報の伝達が行えるよう取り組んでいます。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院中のお見舞いや家族との連絡を取ることで、本人の状態を把握できるよう努めています。退院時には病院へ足を運び、Drとのムンテラや相談員とのカンファレンスに参加し、状態把握や現状とサービスが合っているかの検討を家族と共に行っています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ご利用時、契約時に施設でできる事、できない事を説明しています。今年の夏に急変されたご利用者様をご自宅で看取るお手伝いをしました。医師や訪問介護との連携ができました。今後も家族やご本人の望む形がかなえられるよう支援していきます。 | 契約時に利用者と家族に重度化した場合の事業所の対応し得る範囲について説明し、方針を共有している。自宅での看取りについては、医師、訪問看護師などと協力し、訪問サービスを充実させることで、協力が可能である。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 入社時の研修や社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見時の対応や報告、状況等事例や対策を立て、職員全員が対応できるように努めています。常にご家族と連携を取り、急変や事故発生時の場合、いつでも連絡出来る体制を整えています。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 川崎市中原消防署と連携し、日中の避難訓練、夜間想定訓練を実施しています。災害備品も備えています。 | 年2回の防災訓練を実施している。内1回は消防署の立会いがある。また、夜間想定訓練も実施している。職員が区の防災研修、地域の防災訓練に参加している。食糧、水、日用消耗品の備蓄がある。 | 運営推進会議などを通じ、引き続き、地域の協力を呼び掛け、地域住民協力の下で、防災訓練が実施されることを期待します。 |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 人生の大先輩であるということを意識し、常に尊敬の念を持って接しています。たとえ、不穏状態が続いたとしても、その型の生活歴や性格を考慮し、言葉掛けや対応を行っています。 | 理念に基づき、人生の先輩としての尊敬と敬意の念を持って利用者に接している。年1回接遇研修を実施している。不適切な声かけなどは、管理者が、その都度注意している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 危険な行為や言葉、他の方々に不愉快や不穏な状態、健康状態に支障にならない限り、自己決定できる支援を心掛けています。また、どんなものがお好きが伺い、食事、飲み物、レク等に反映できるように心掛けています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入浴や更衣、配膳の手伝い等、可能な限りご本人の意向を優先しています。働きたいのか、散歩をしたいのか、又はのんびり過ごしたいのか、聞いてから行動を共にしています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 利用者様がお見えになられた時、その片に合った服装だったり。また、手作りの物を着ている時など「お似合いですね」と声掛けし、会話に繋がっています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者様一人一人の好みや出来る力を把握し、美味しい物、好きな物を召し上げて頂けるよう努力しています。また調理や片づけ等、出来る範囲で職員と一緒にしてもらっています。 | 通常は、配食業者の献立を基に配達された食材を、職員が調理している。外食、バイキング形式の会食、流しそうめん、おやつ作りなど、月1回は行事食を楽しんでいる。訪問時はクリスマスのバイキングであり、職員手づくりの料理がテーブルに並び、家族も加わった、にぎやかな昼食会となった。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養士によるバランスの摂れたメニューにより調理を行っています。個人の状態に合わせて盛り付けしたり、適切な水分量が確保できるように、声掛け等、支援を行っています。水分摂取量や食事摂取量は記録に残し、ご本人の嗜好に合わせた飲み物などを提供しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 個別に応じたケアを実践しています。毎食後、口腔ケアの介助が必要な方には、声掛けや見守り等必要に応じた介助を行っています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | ご本人の尿意や便意の訴えにより声掛け、誘導を行っています。尿意や便意の訴えの無い方、間に合わない方は、記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。 | トイレでの排泄を基本とし、排泄パターンを把握して、トイレ誘導している。泊まりの利用者には「声かけしてトイレ誘導をする利用者」「睡眠を優先し、オムツを利用する利用者」など、自宅の生活に合わせ支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 一人一人の食事量、水分量を把握し、排泄の記録を残し、ご家族に排便の有無を確認して、便秘の早期発見と予防に努めています。必要な飲水量の確保、おやつ（ヨーグルトや寒天使用）にて排便コントロールの支援を行っています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | ご本人の意思を尊重し体の状態も考慮し、気分よく入る声掛けを工夫しています。拒否がある場合はその方に合わせた声掛けや誘導を行っています。 | 入浴は原則として週2回実施しているが、回数、時間帯は制限せず、できる限り利用者の希望に沿っている。お湯は都度取りかえている。リフトも装備されている。お気に入りの入浴剤を使用する利用者もいる。湯河原温泉のお湯を配達してもらい足湯を楽しんでいる。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 各利用者様が自由に居室やフロアにて過ごされています。お一人での移動が不可能な場合は、その時の状態観察を行ったり、ご本人に伺ってから休息の支援を行っています。夜間安眠して頂けるよう日中の活動も考慮し支援しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬は特に配慮をし、症状の変化や経過等は家族へ必ず報告し、職員、看護師共に連携を努めています。また、個人記録に添付してある薬剤情報を参考にしながら服薬の支援を行っています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | お手伝いが出来る方には、フロアの掃除、台所仕事などを職員と共に行って頂き、職員から常に感謝の言葉をお伝えしています。また、さまざまなレクを用意し、ご本人の出来ることを見出したり、春先からは裏庭の畑仕事を手伝って頂いたり、日常生活の中で張り合いを感じて過ごせるよう支援に努めています。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 日常的な送迎の際、近隣の方には天気の良い日は車ではなく徒歩にて送迎を行っています。軽い運動、四季の季節を感じられるよう散歩を兼ねた送迎を行っています。また、買い物に行きたいとの訴えがあったら職員が同行し近くのお店へ出掛けています。 | 天候が良い日は、職員が付き添い、散歩や買い物を支援している。利用者の状況に応じ徒歩での送迎を行うこともある。ほぼ毎月、車を利用した外出行事があり利用者の楽しみとなっている。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご利用者様の状態に合わせてご家族や後見人と相談し対応しています。自己管理されている方、財布を預かり使う時だけお渡しする方、立替金で対応する方と様々ですが、買い物をそれぞれ楽しめる様支援しています。また、随時要望に合わせて買い物に付き添っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 年末には、普段会えない方への年賀状を書いて頂く支援をしたり日常的に電話は自由に掛けられるよう要望があれば事務所の電話をお貸しします。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 湿度、温度計を置き、適度な湿度、温度を保つようエアコン、加湿器の調整を行っています。日中はベランダより光を取り入れ季節感が感じられるよう、天気の良い日はベランダに出て庭の草花を見ながら会話に繋がっています。生けた花を小規模入口に飾り、開花していくさまを楽しんで頂いています。 | 玄関の生花は週に1度活け替えている。リビングルームの壁には行事の写真や職員が作った季節感あふれる作品を飾っている。リビングルームの掃きだし窓を開けると、ウッドデッキに続いており、プランターや畑がある庭に下りることができる。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ご利用者様は、ご自分の席を意識されており、いつもなじみの関係が保たれています。また、居室もいつも同じ居室を利用されることで「自分の居場所」の認識を持っておられ一人になりたい時はフロアで過ごされたりされています。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自宅が畳の方には、畳部屋を利用して頂いたり、お泊りが継続される場合には、ご自宅より使い慣れた物を持参して頂く等の配慮を行っています。 | 泊まりのスペースは和室が4部屋、洋室が5部屋、リビングルームを囲むように配置されている。泊まりの利用者はテレビやラジオを持ち込み居心地よく過ごしている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | トイレに認識出来るような目印をつけたり、声掛けによりご自分で出来るように支援しています。また、その方に合わせ、お手伝いを分配し「出来ること」の支援を行っています。 | | |

目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語りなかりん新会館

作成日 平成27年4月20日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|---|-------------------|--|
| 1 | 35 | 地域の力を 呼びかけ 地域 住民の力の下で 防災訓練が実施 されない | 防災訓練の 地域住民の力 及び 地域の力の運営推進 会議を通じて力 | 防災訓練の地域 住民参加 | 平成27年 2月27日(金) 4事業所合同で 防災訓練実施 (地域の方参加あり) |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。